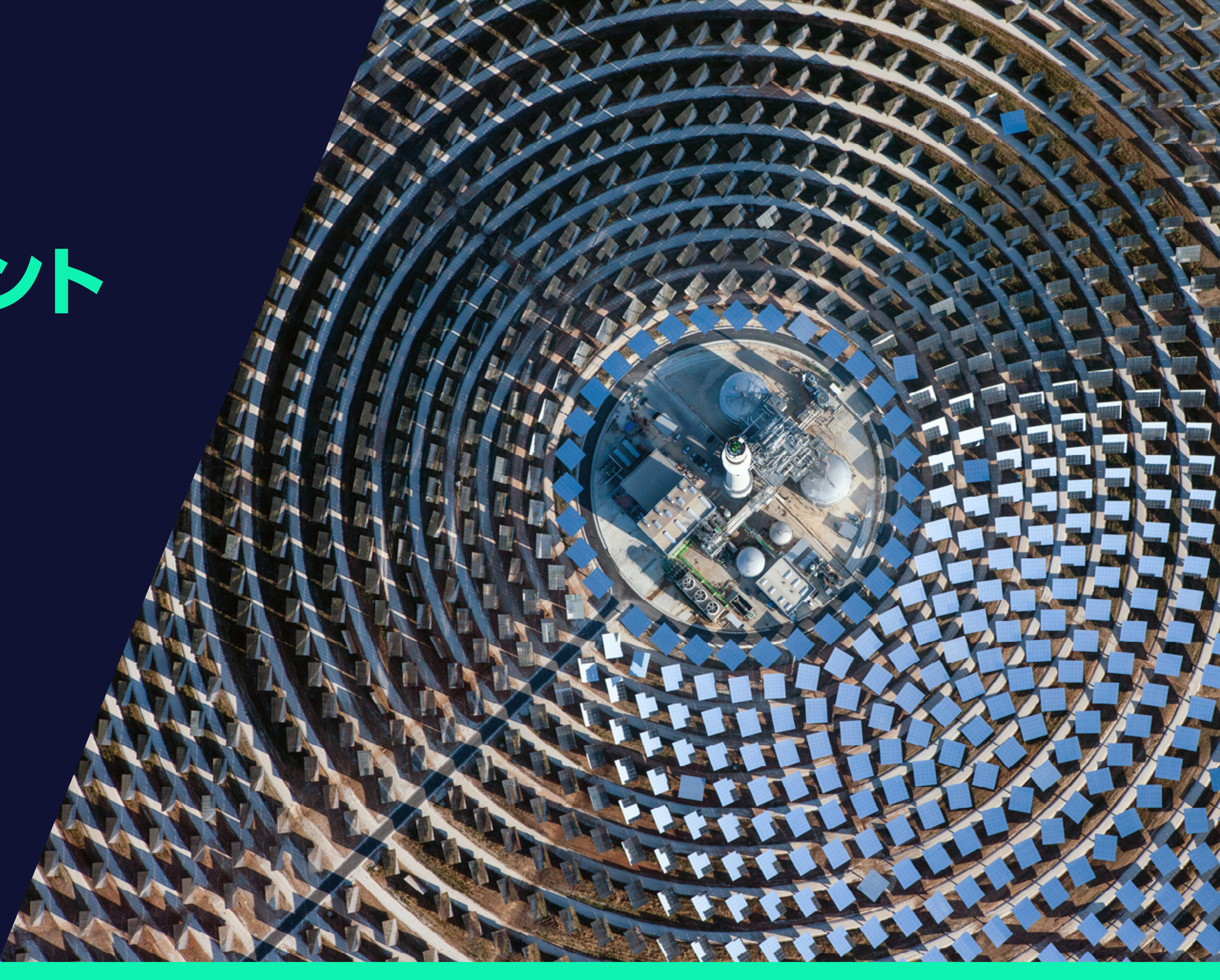


環境マネジメント システムの ISO 14001 認証取得




目次

[戻る](#)

[次へ](#)



- [1](#) ISO 14001 とは何ですか？
- [2](#) 環境マネジメントに影響を与える業界動向
- [3](#) ISO 14001 認証のメリット
- [4](#) マネジメントシステムの統合
- [5](#) ISO 14001 の主な要求事項
- [6](#) ISO 14001 の認証取得方法
- [7](#) LRQA を選ぶ理由



物事は常に変化するものです。私たちの手に負えない外部要因が業務環境に影響を与えることはよくありますが、1つだけ不変のものがあります。それは、組織における環境マネジメントの必要性です。

ISO 14001 認証は効果的で機動的な環境マネジメントシステムのための強固なフレームワークを提供し、こういった環境を実現するのに役立ちます。

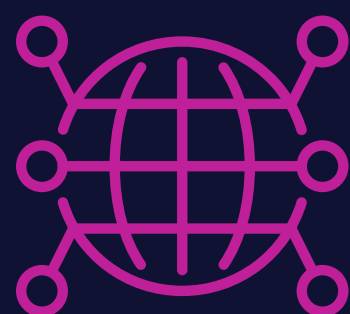
ISO 14001 とは 何ですか？

ISO 14001 は組織が汚染防止、法令遵守、継続的改善への取り組みを通じて、環境への影響をマネジメントすることを要求するものです。組織が環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格の要求事項を満たすための枠組みを提供しています。

ISO 14001 による環境マネジメントシステムの認証は、組織が環境パフォーマンス改善への取り組みを示すのに役立ちます。ISO 14001 は、現在の世界における変化する組織のニーズをサポートし、組織が活動する複雑な環境を反映できるように、包括的な見直しと更新が行われています。



環境マネジメントに影響を与える業界動向



テクノロジーの台頭

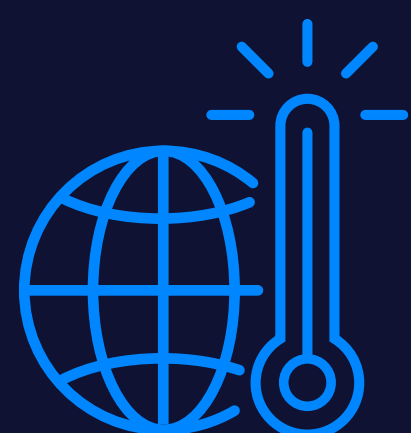
第4次産業革命と呼ばれるテクノロジーの台頭が進み、ドローンや自動運転車の商業的・工業的利用、積層造形、ロボット工学や人工知能の利用増加をもたらしています。現在から2050年までの間に、インターネット経由で接続される機器の数は倍以上になると推定されています。その結果、ビッグデータとデータ分析の影響は、工業・商業の多くの分野で感じられるようになるでしょう。



パンデミック以前の状態に戻る

パンデミック以前の状態に戻ることは、組織のサステナビリティ計画や一般的な環境福祉に、複数の点で影響を与える可能性があります。多くの組織が意欲的なサステナビリティの目標を設定していますが、パンデミック以前の状態に戻ればエネルギー消費量と廃棄物発生量が増加し、結果として目標達成に苦勞することになるかもしれません。職場に復帰して移動する人が増えると、エネルギー消費量や二酸化炭素排出量も増加し、環境に悪影響を及ぼす可能性があります。組織によっては、リモート/ハイブリッド勤務、グリーン輸送の利用、廃棄物削減の取り組みなどの持続可能な慣行を導入することで、これらの悪影響を緩和することができるでしょう。

環境マネジメントに影響を与える業界動向



気候変動への継続的な 関心

現在の気候危機に対する認識が高まっているのは、その影響を現在、すべての大陸の地域社会が日常的に経験するようになっていることが大きな要因です。また、これらの影響は予見可能な将来に元に戻すことができず、さらに悪化することは明らかです。



資源不足

このメガトレンドは気候変動と関連していることもありますが、世界人口の増加や工業化によってさらに促進されることもあります。近年、世界的に注目される例としては、2018年に南アフリカのケープタウンで起きた水危機が挙げられます。特に、通常大量に水を使用する部門において、業務活動に大きな影響が及びました。しかし、例えば電池・電気自動車・スマートフォンなどの電子機器に大量に必要とされるレアメタルなど、より世界的に破壊的な不足が生じる可能性もありえます。また、新型コロナウイルス感染症の大流行やウクライナにおける戦争、または2021年3月のスエズ運河の一時封鎖等の事象による混乱を踏まえ、世界的なサプライチェーンの安定性や強靭性に対する懸念も高まっています。物資の不足により、組織は製品やプロセスを再設計する必要が生じ、新たなリスクが発生することになれば、リスクレベルが変化し、場合によっては急遽、リスクマネジメントを調整する必要性が生じることもあります。

ISO 14001 認証のメリット

[戻る](#)

[次へ](#)



LRQA のような国際的に認知されたブランドからの認証は、クライアント、従業員、および利害関係者に、品質と継続的改善が組織の優先事項であるという信頼を与えてくれます。

ISO 14001 認証は、現在と将来の法規制に対応・特定するための体系的なアプローチを提供することで、法的要求事項の遵守に役立ちます。

ISO 14001 は、エネルギー使用量、廃棄物削減、原材料調達などの主要領域におけるパフォーマンスの管理と改善に役立ち、クリーンナップ、訴訟、それに伴う風評被害の可能性を軽減することができます。認証は、環境リスクが管理され、特定の目標に対する改善が常に行われていることを示すものです。

ISO 14001:2015 に準じた独立した認証を取得することで、信頼性が高まり、ビジネス上の競争において非認証企業に対する競争力が得られます。ISO 14001 は、環境目標に向けた継続的改善を推進することにより、原料のより効率的な使用とパフォーマンスの向上を推進し、コスト削減を促すのに役立ちます。



マネジメントシステムの統合

[戻る](#)

[次へ](#)



ISO 14001 は、最新の ISO 規格の上位構造である附属書 SL に準拠しています。附属書 SL 構造は、異なるマネジメントシステム規格間の一貫性と互換性を確保し、複数の規格の簡潔で整合のとれた実装を可能にします（統合マネジメントシステム）。ISO 14001 は、ISO 9001、ISO 45001、ISO 27001 など、すべての新規および改訂された ISO マネジメントシステム規格と容易に統合できます。

LRQA では、多くの ISO 規格を採用した統合マネジメントシステムを導入することで、組織にとって明確なメリットがあると考えています。統合マネジメントシステムは、サービスの提供、環境への影響、従業員の健康と安全など、組織活動の様々な側面にわたってリスク要因を統合的に管理するための効果的なメカニズムです。

統合されたマネジメントシステムにより、組織は自社の戦略目標を運用に結びつけ、利害関係者を適切に関与させることもできます。最初のマネジメントシステム認証が確立され、統合マネジメントシステム・アプローチを構築するための正しい基盤が定義されれば、追加の認証を導入するために必要な時間、労力、活動は大幅に減少し、投資をはるかに上回るリターンを得ることができます。



附属書 SL の箇条

[戻る](#)[次へ](#)

附属書 SL は 10 箇条で構成されています。マネジメントシステム規格のすべての内容は、附属書 SL のフレームワークに従う上で、10 箇条すべての判断基準を満たさなければなりません。箇条は次のように分類されます。

箇条 1 適用範囲 マネジメントシステムの意図された結果を定義します。	箇条 2 引用規格 関連する規格または出版物を引用します。	箇条 3 用語および定義 規格全体で使用されている一般的な用語の定義を示します。	箇条 4 組織の状況 マネジメントシステムがカバーする領域を定義します。	箇条 5 リーダーシップ この領域では、リーダーシップチームがマネジメントシステムの運用に参与することの重要性を強調します。
箇条 6 計画 マネジメントシステムがその目的をどのように達成し、組織がリスクにどのように対処するか。	箇条 7 支援 マネジメントシステムの運用をどのように支援し、効率的に運用するか。	箇条 8 運用 これらの領域のパフォーマンスをどのように追跡するかなど、ビジネスにおける日常のプロセスと運用の詳細。	箇条 9 パフォーマンス評価 マネジメントシステムの要求事項に照らして、ビジネスの運用状況を分析および監視します。	箇条 10 改善 パフォーマンス評価の結果を使用して、ビジネスとそのプロセスを改善します。

ほとんどの場合、これらの箇条は、適用される規格に関係なく、同一の共通テキストを使用し、共通の用語および定義を共有して、マネジメントシステム規格間の一貫性と互換性を促進します。これは、マネジメントシステムの基本的な仕組みが標準化されていることを意味します。

ISO 14001 の主要要求事項

組織の状況

ISO 14001 は、組織に直接影響を与える環境問題にとどまらず、より広い社会への影響を考慮することを求めています。組織はそれぞれ異なるので、それぞれの状況が重要です。環境マネジメントシステム（EMS）の目的は、組織が提供する活動、製品、サービスに適用される環境パフォーマンスの向上を実現することです。したがって環境マネジメントシステムは、組織の活動、関連するリスク、遵守義務、利害関係者、製品またはサービス、および組織が活動するビジネス環境を考慮して、組織の特定のニーズを満たすように設計され、実施される必要があります。これらの状況の検討は、環境要因のみに限定してはならないことに注意しなければなりません。環境マネジメントシステムの状況には、ビジネス環境、組織の文化や能力などの内部要因、戦略的方向性、および組織が活動する上での社会経済的条件などの外部要因が含まれます。組織の状況をよりよく理解するために、「PESTEL」や「SWOT」などの手法が役立つ場合があります。

リーダーシップと働く人の協議及び参加

シニアマネジメントは、環境マネジメントに対する明確な取り組みを示す必要があります。環境マネジメントを前進させる上で、トップマネジメントがすでに積極的役割を果たしている場合には、リーダーシップが関与しているという証拠が存在すると言えます。しかしながら、トップマネジメントが環境マネジメントの責任を効果的に委譲している組織では、その影響は著しく大きいものとなります。審査員は、トップマネジメントが環境マネジメント方針の策定、実施、維持に関与している証拠に加え、製品やサービスの品質に責任を有する従業員に、方針と目標が効果的に周知されている証拠を求めることとなります。

リスクと機会

ISO 14001 の箇条 6 で言及されている計画は、リスクと機会に対処する上で不可欠な役割を果たし、組織が不適合や法的要求事項などの望ましくない影響を防止または軽減して、目標を達成できるようにする方法に焦点を置いています。ポジティブな点、組織にとっての機会、そしてそれらを最適化する方法に目を向けることを忘れないことが重要です。

サプライチェーン全体の環境マネジメント

ISO 14001 は、より広範なサプライチェーンに影響を及ぼす環境マネジメントの問題について、利害関係者であるという観点からも、調達に関する条項における明確化の観点からも、考慮することを組織に求めています。アウトソーシング、委託事業者、調達契約の管理プロセスが明確化されており、より広範なグループのリスク特定と効率の向上につながると考えられます。

改善

組織は、環境マネジメントシステムの意図された成果の達成を促進する改善の機会を積極的に探し出し、実現しなければなりません。パフォーマンスを向上させるための措置を講じる際は、環境パフォーマンスの分析と評価、内部監査、コンプライアンス評価、およびマネジメントレビューの結果を考慮する必要があります。改善は、是正処置、継続的改善、イノベーションから生じることがあります。

ISO 14001 の認証取得方法

[戻る](#)

[次へ](#)



LRQA は、英国認証機関認定審議会 (UKAS) の認定を受けた最初の認証機関であり、1986 年に認定番号 0001 を取得しました。これは、LRQA が ISO 14001 審査を実施するのに必要な経験と専門知識を確かに備えていることを意味します。LRQA の審査員は、クライアントのビジネスを理解し、効果的で堅牢な審査を通じて価値を付加する業界の専門家です。

ISO 14001 認証取得のために組織がとる方法は、多くの場合、事業の規模、成熟度、リスクマネジメントに対する既存のアプローチなどの要因に左右されます。しかし、ISO 14001 の認証を取得するための標準的なプロセスには、2 つの主要なステップが含まれます。

組織が環境マネジメントを初めて行う場合、ISO 14001 ギャップ分析は、認証可能な環境マネジメントシステム (EMS) を構築する上で、システム内の最も高いリスクや脆弱な領域に焦点を当てる機会となります。LRQA がお客様と協力してギャップ分析の適用範囲を定義し、お客様の目的に合致するようにします。ISO 14001 ギャップ分析の詳細は、こちらの資料よりご参照いただけます。

品質 (ISO 9001)、環境 (ISO 14001)、労働安全衛生 (ISO 45001) など、複数のマネジメントシステムを使用している組織の場合、LRQA はマネジメントや業務の中断を最小限に抑えるため、調整された定期審査プログラムを提供することができます。





ISO 14001 の 審査プロセスが 機能する方法

認証は通常、現行システムの評価と初期審査の2段階のプロセスで構成され、組織の規模と複雑さや、マネジメントシステムの成熟度によって異なります。マネジメントシステムが承認された後は、LRQA が定期審査を実施してシステムの継続的な有効性をチェックし、環境マネジメントシステムが継続的に改善されていることを再保証します。ISO 14001 の認証と教育研修については LRQA までお問い合わせください。

リモート審査が 機能する方法

セキュアな遠隔技術を使用して、これまでオンサイト審査でしか利用できなかった高品質の審査サービスを提供します。LRQA の ISO 14001 サービスは、リモート審査とオンサイト審査を組み合わせ、比類のない洞察と専門知識を提供し、迅速かつ柔軟に審査スケジュールを維持する方法を提供します。同時に、移動に伴うカーボンフットプリントを削減し、危険な場所や到達しにくい場所で作業する際の労働安全衛生リスクを最小限に抑えます。審査結果は、オンサイト審査と一貫しているため、審査と認定認証の整合性は全く同等に保たれます。

LRQA を選ぶ理由

信頼と実績のあるパートナーと協力してマネジメントシステムを認証することは、利害関係者に高い基準が設定され、満たされていることを示す、他に類を見ない強力な方法です。認証は、安全で持続可能かつ倫理的な働き方への取り組みを示すことで、現在の評判を高めながら、将来のリスクを最小限に抑える業務慣行を確保するのに役立ちます。

戦略的ビジョン

技術的ノウハウ、セクターの専門知識、革新的で先見性のあるアプローチが、現在の課題に対処し、将来的により安心・安全・持続可能な組織になるための支援を提供します。

技術的な専門知識

LRQA のスタッフは各部門のエキスパートです。クライアント固有の課題・基準・要件を明確に理解した上で、認証、ブランド認証、食品安全、サイバーセキュリティ、インスペクション、教育研修に関する豊富な知識を活用し、クライアントの課題への対処を促します。クライアントのチームと協力して、リスク、課題、ニーズを明快に理解したうえで、現在および将来のビジネスの成長を支援するために知識を共有します。

グローバルな能力

160 か国以上で事業を展開し、世界中で 30 以上の認定機関に認められ、幅広い業界をカバーしています。お客様のビジネスとサプライチェーンの両方において、

リスクマネジメント、ビジネス改善の推進、利害関係者との信頼関係の構築、持続可能性目標の達成を支援することができます。

効果的なパートナーシップ

どのビジネスも固有の特徴があります。だからこそ LRQA のエキスパートがお客様と協力し、そのニーズと目標を完全に理解し、支援のための最適な方法を検討することが必要です。

先駆的アプローチ

LRQA には率先して業界を構築してきた実績があり、あらゆる機会を活かしてクライアントと協力し、新たなアイデア、サービス、イノベーションの開拓を絶えず続けています。



YOUR FUTURE. OUR FOCUS.

LRQA について

認証・サイバーセキュリティ・検査・教育研修分野の比類なき専門知識を結集することにより、当社は世界的な認証のリーディングプロバイダーの地位を確保しています。

その伝統は誇るべきものですが、顧客との今後のパートナー関係を構築する上で、本当に重要なのは現在の当社の姿です。揺るぎない価値・リスク管理、軽減における数十年の経験・未来への的確なフォーカスを組み合わせることで、より安心・安全・持続可能なビジネス構築に向けてお客様をいつでも支援します。

独立した審査・認証・教育研修から、リアルタイムの認証技術・データによるサプライチェーン改革まで、当社の革新的なエンドツーエンドのソリューションが、変化の速いリスク環境に積極的に対処できるようお客様をサポートします。つまり、未来の状況を成り行きに任せるとはならず、お客様が自ら構築できるようになるのです。

お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/> をご覧ください。



LRQA リミテッド

〒220-6010

横浜市西区みなとみらい 2-3-1

クイーンズタワー A10 階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。

LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。詳細については www.lrqa.com/entities をご参照ください。

© LRQA Group Limited 2022